

活動名	引きこもりや不登校の子ども・若者と、 その家族向けの余暇活動の充実	団体名称	NPO法人キドックス
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動

■活動結果（概要）	■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
引きこもりや不登校の子ども・若者とそのご家族と一緒にキャンプ合宿を行い、日常とはまた違う場面で遊びを通じて彼らの主体性を育み、やりがいや生きがいを考えるきっかけを提供した。 実施後本人達からアンケートを回収してみると、私たちが考えている「余暇活動」との差が大きく、特に「親がいると息抜きにならない」「対人コミュニケーションは疲れるが、一人きりがいいわけでもない」「余暇にかけられるお金がない」という複雑な感情が混ざっていることがわかった。 そのため、まずは彼らが余暇活動を通じてリフレッシュできたり、楽しみを見出せる活動を考えていくこととした。	2017.9～10 2017.11～2018.2 2018.4 2018.5～8	親子向けのキャンプ合宿を実施。 アンケートの実施、スタッフ内で振り返り反省会。 通信制高校の先生、児童養護施設の職員の方へ企画案のご相談・ご提案・調整ミーティング。イベント専用webページの構築。 若者達と余暇活動ミーティングを実施。 余暇活動として月1回のペースでゲーム大会等を行う。 通信制高校向け・児童養護施設向けのキャンプ合宿は、打ち合わせの結果来年の春に実施に延期となる。

■活動目標	引きこもりや不登校の子ども・若者とそのご家族へ支援を提供することで、引きこもりの長期化・慢性化を予防し、生活保護世帯の減少、納税者の増加をはかる
■長期成果	引きこもりの子ども・若者・家族にとっては、対話が深まり家族関係を見直すきっかけ、他者と余暇を楽しむことで人生の生きがいや充実感について考えるきっかけになる。外部機関の子どもたちにとっても、心のケアや気持ちのリフレッシュ、主体性やコミュニケーション力の育成、将来の生き方について考えるきっかけになる。

活 動 風 景



キャンプ合宿の様子



大人数でできるゲームたち



余暇時間の一コマ

■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信
<p>普段は自立支援のプログラムをやっていることもあり、余暇活動が自宅に引きこもっている・家族とも出かけない家庭が多く、余暇活動をもっと充実することで、より毎日をいきいき過ごせるのではと企画を実施したものの、少々こちらのお節みな部分もあったのではと実施を通して感じる部分があった。（親御さんと一緒に余暇を過ごすことなど、一般家庭では普通のことでも本人達にとっては逆にストレス源になってしまう）</p> <p>そのあたりも踏まえ、改めて彼らの本音を聞き、彼らがまずは余暇を楽しみたいと思ってもらえること（人生そのものが灰色と感じている方が多いので、まずは楽しい嬉しいという感情の創出から）が第一と捉え、彼らの意見を聞きながら余暇活動の時間をとり、内容を変更していった。</p> <p>すると、コミュニケーションを意欲的にとるようになり、体調が良くなった、来所頻度も高くなった若者が続出した。</p>	<p>キャンプ合宿にしても、ゲーム大会にしても、共通の目標を掲げて、協力しあいながら目標を達成する充実感、話すテーマがありコミュニケーションが苦手な人でも自然に会話につながる、いつもの自立支援プログラムと異なり時間やルールや責任などに縛られず、もっと自由でリラックスした気持ちになれる等、余暇活動による恩恵が生まれた。（良いところは同じでも、ゲーム大会のほうが気軽さがあり参加者が増える、親御さんが参加しないため参加者のストレスが減る、という部分の違いがあった）</p> <p>特に、普段休みがちな子が来るようになったり、コミュニケーションが以前よりも活発になったり、特に多かった意見は「体調が良くなった」ということを皆口々に言っていた。余暇活動が彼らの精神的に与える影響は大きいと実感した。</p>	<p>当事者の目線と、支援者の目線、どちらも欠けてはいけなさと感じている。</p> <p>特に、支援を長くやっていると支援者の目線が強くなってしまふ。当事者の目線に改めてたつて、彼らの声を聴くこと、関係性を築き本音を引き出すこと、時には彼らに提案をして発想する幅を与えつつ選択は彼らにしてもらうこと等、常に当たり前のことと思っていたことでも、気づくことができなくなっていたりするため、今回の活動を通じて肝に銘じた。</p>

〒 300-4111

(住所) 茨城県土浦市大畑1440

(団体名) 特定非営利活動法人キドックス

(ホームページ) : <http://kidogs.org>

助成金額

500,000円

助成期間

H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。